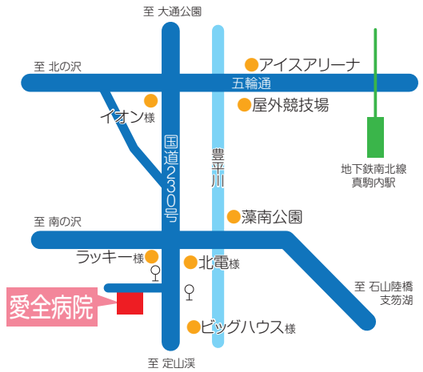
愛全病院 建替え1期工事完了間近！

現在、進行しております病院建替え1期工事が平成28年2月末に完了し、3月より新病棟を運用いたします。引き続き2期工事に入り、平成29年秋頃にグランドオープンの予定となっております。工事期間中は、何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

医療法人愛全会 **愛全病院**

〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
TEL(011)571-5670／FAX(011)572-8005
http://www.aizenkai.or.jp

病院機能評価 認定第MB44-3号
審査体制区分：4(Ver6.0)



じょうてつバス

■ 地下鉄真駒内駅
[南95] 硬石山 行き
[南95] 石山1条6丁目 行き

■ JR札幌駅
[7番] 定山渓温泉 行き
[7番] 藤野4条5丁目 行き
[南55] 硬石山 行き

●最寄りの停留所
『川沿12条2丁目』にて下車

愛全病院　理念

私たちは、人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした
生命を大切にする心　思いやりを大切にする心　学ぶことを大切にする心
をもって地域の安心づくりに努めます。

1. 人間愛と責任感に基づく、優しい医療に努めます。
2. 患者さまへの十分な説明と同意、並びに患者さまの選択の意志の尊重に努めます。
3. 患者さまのプライバシーを尊重し、また、個人情報の保護と診療情報の提供に十分な配慮をいたします。
4. 良質な医療サービスを提供して、地域の皆さまの安心づくりに貢献します。
5. 入院・通院から在宅まで「継続的な」医療とリハビリテーションの提供に努めます。
6. 常に患者さまの声に耳を傾けて、暖かみのある療養環境づくりに努めます。
7. 良質な医療の提供のため、たゆまざる努力と研鑽に努めます。

患者さまの権利

1. 患者さまは、常に一人の人間として、その人格・価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、社会的地位・年齢・性別・信条・疾病の種類などにかかわらず、平等に適切な医療を受ける権利があります。
3. 患者さまは、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 患者さまは、医療の内容を十分に理解し納得した上で、治療方法などを自らの意志で選択する権利があります。
5. 患者さまは、医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 患者さまは、病気やその療養方法および保健・予防等について教育を受ける権利があります。
7. 良質・安全な医療を実践するためには、患者さまと医療提供者との間のパートナーとしての人間的信頼関係と双方向のコミュニケーションがきわめて重要になります。

優（ゆう）

すべての人に、愛を
愛全会
http://www.aizenkai.or.jp

Vol. 12

平成27年12月発行

〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
医療法人愛全会 愛全病院 広報委員会
TEL(011)571-5670／FAX(011)572-8005

TOPIC NEWS

愛ちゃんケアについて

いつものケアに良質な「変化」というスパイスを加える11種類の「あいちゃんケア」。
看護部では変化の少ない療養生活を送っている入院患者様に、笑顔と生きる活力を提供できるよう、あいちゃんケアに取り組んでいます。

ご家族と一緒に
フットケア・ネイルケアを行った時▶

安心して暮らせる地域包括ケアシステムを目指して

愛全病院 病院長／島崎 孝志

慢性期医療・高齢者医療のフィールドに立ち2年余りが経過しましたが、改めて担う役割、責任の重さを感じているところです。

少子化と高齢化が急速かつ同時に進んでいる現状では、医療・介護分野における機能分化と連携、地域包括ケアシステムの構築と熟成が求められております。病院の役割を果たすためには、個々の力はもちろんですが、よりパワーを発揮するのはチーム力が必要と考えます。そこで今年度から診療部の充実と各部署との連携強化を目的に診療部長の三人体制をとりました。院内の風通しが良くなると同時に、近隣医療機関との病診・病病連携、医師会との協力体制の更なる充実につながることを期待しております。また、「在宅医療」を推進させるためのリハビリ体制の病棟機能別変更、「食」へのこだわりを強く持った嚥下リハビリの取り組みが、三人体制により強化されました。今後も『高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアシステムを目指して』努力していきますのでご支援よろしくお願いいたします。

愛全病院／岡田診療部長

今年4月より診療部長となりました岡田祐二です。主に障害者一般を中心に診療に従事していますが、同じく診療部長になられた居川・山田両先生と共に、また他の診療部の諸先生を含めた当院の各職員の皆さまの協力を得ながら、職務を遂行していきたい、と思っております。当院へ来てから早9年あまりが経ち、慢性医療に携わるものとしてまだまだ勉強することが多いと感じているところではございますが、なんとか地域を含め、より良い医療を提供することが出来れば、と思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

愛全病院／山田診療部長

診療技術職種の統括担当としてチーム医療の推進に取り組んでいます。チーム医療とは医師、看護師、リハビリ療法士、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー等医療に従事するスタッフが各々の専門性を発揮しつつ目的と情報を共有し互いに連携・補完し合って患者さんの状況に的確に対応した医療を提供することです。患者さんは病気のことだけでなく多岐にわたる様々な問題や不安を抱えています。チーム医療の実践によりきめ細かい良質な医療を提供し、全ての患者さんの満足につなげてゆきたいと思います。

愛全病院／居川診療部長

4月1日よりリハビリ部門の診療部長を拝命した居川です。私が大学病院より週1回の非常勤で勤務し始めたのが平成17年度で、前任の先生から引き継いで常勤になったのが平成22年度ですから、愛全会とのご縁は10年以上になります。愛全会の特徴は職員の質が優れていることです。リハ職員は100名以上の大所帯ですが、まとまりが良く活気に満ちています。私は今年度より札幌市医師会の仕事も拝命しましたので、微力ですが南区の医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

リハビリテーション部の体制変更について

リハビリテーション部は、(平成27年12月1日現在)PT(理学療法士)43名、OT(作業療法士)38名、ST(言語聴覚士)13名の総勢94名の職員が在籍しております。平成27年4月より、PT・OT・STの横の繋がりを強化し、各職種がチームを組み患者さまの在宅復帰や生活に密着したリハビリをより推進するため、回復期・在宅リハビリテーション科、生活期リハビリテーション科の2科体制へ変更致しました。回復期・在宅リハビリ科では、回復期病棟と訪問リハとの連携や職員の早出・遅出体制によるADL(日常生活動作)への直接的アプローチ、リハ栄養に積極的に取り組んでおります。生活期リハビリ科では、在宅復帰から療養生活まで幅広く対応し、生活リハや他施設との連携に力を入れております。また、平成26年12月には心大血管疾患リハビリテーション料の施設基準も取得致しました。近隣の医療機関から対象患者の入院も着実に増え、心不全や心筋梗塞に対するリハビリテーションを中心に展開しております。心疾患リスクに配慮したリハビリの提供にも、より一層努力してまいります。

骨粗しょう症外来開始

○毎週 月・火曜日 9:00〜12:00

高齢化に伴い骨粗しょう症の患者が年々増加しつつあります。骨粗しょう症が進行しますと骨折しやすく、寝たきりの重要な原因ともなり、生活の質を低下させます。
当院では骨密度装置(DXA法)などを用いて診断し、早期発見・治療に努めております。
北大の整形外科医師が担当します。お気軽にご相談ください。

第22回 愛全ふれあいまつり開催

今年で22回目となる「愛全ふれあいまつり」を開催いたしました。このおまつりは、「敬老の日」にちなんで患者さまやご家族さまに楽しんで頂けることを目的として始まりました。
当日は、晴天のなか屋外では定番の屋台をはじめラーメン・ジンギスカンなども提供、屋内では射的・ヨーヨー釣りなどの縁日や写真館での記念写真撮影をおこないました。
また、今回より新たに、あいちゃんケアの中からハンドケアの体験ブースも加わり、患者さま、ご家族さまともに大変喜んで頂き大盛況の一日となりました。

平成27年8月29日(土)開催

〜愛全病院の新任医師をご紹介〜

愛全病院
中野裕雄医師

愛全病院
井手直樹医師

愛全病院
中村陽介医師